

2学年通信 19号

配信は続くよ どこまでも 3

●「己に徹して人のために生きよう」の具体的な姿とは

「己に徹して人のために生きよう」は、言うまでもなく舟入高校の誇るべき校訓です。

自校の人間が自校の校訓を誇らしく思うのは当然ではありますが、この校訓は、校外の方に紹介するたびに、いつも「いい校訓ですね」と讃えられます。と同時に、ほぼどの人も、少し立ち止まってこの校訓の意味を図ろうとしているように感じます。

この学校に赴任し、初めてこの校訓に接した時、自身も同じように、この校訓についてある不思議な感銘を覚えました。平明な言葉ながら、なかなか難しいこと深いことを言っているなという意味での「感銘」です。そして、この校訓の意味を考え続けること、自分なりに解釈をすることが、舟入高校で仕事をするということなのかもしれないと思いました。折に触れ、そのことは頭をよぎります。

そのような折も折、次のようなニュースを目にしました。

◆京都大学の山中教授、新型コロナのHP開設。

闘いは「長いマラソン」

山中教授は、13日にホームページを開設されたそうです。新型コロナウイルスについての研究論文や報道、データなどを分析、科学的な強い根拠がある情報と、根拠が不十分な情報をランク分けしてまとめ発信したいというものです、

山中教授は、新型コロナウイルスとの闘いを「短距離走ではなく、1年は続く可能性のある長いマラソン」と表現し、「疲れたり油断して止まってしまうと、感染が一気に広がり、医療崩壊や社会混乱が生じます。一人一人が、それぞれの家庭や仕事の状況に応じたペースで走り続ける必要があります」などとメッセージを記しています。

朝日新聞の取材に「iPS細胞も大切だが、目の前にある大きな脅威に、医学研究者として貢献したい。iPS細胞の活用には時間がかかるので、今すぐできる正しい情報発信をしたい」と語ったと報じられています。

自分の力・強みを最大限活かすことと、それが決して自己利益や世間の評価のためでなく、人のためであること……このニュースに、舟入の校訓に共通する精神、具体的な実践の姿を感じました。連休中に目にしたこのニュースに、家族中でしきりに感心したことも、何か心強い、温かい出来事になったのでした。皆さんとも是非共有したい話題でした。(4組担任)

